

## 平成 22 年 11 月 06 日「ハロウィン」

掲載日:2010 年 11 月 6 日

### 平成 22 年 11 月 6 日 「ハロウィン」

今日はハロウィンが開催されるとのこと。

噂によると町の子どもたちが 100 人以上くるらしい...

ウサビ「これは、子供たちの人気者になるチャンス...」

しかし、こんな時に限って中の人がないという状況。

ウサビ「か、肝心な時に(つ、使えねえ)」

( ウサビは中の人がないと動けない)

仕方なく代理の人を中に入れて乗り込むことに。



中に入るといきなり囲まれるウサビ。

ウサビ「ふふふ。人気者はツライぜ。」

しかし、ウサビ人気はそれほど続かず...



ウサビ「はははは…あれ？ちよっ、首を引っ張るのは、やめっ」

子供たち「きゃはははは！！」

ウサビ「！（まずい、周りをすべて塞がれた！）」（ ）はウサビの心の声です。

子供たち「背中チャック引っ張っていい？」

ウサビ「！！（いいわけねーだろ！飛び出すぞ中身が！）」

子供たち「頭もとれるんじゃない？」

ウサビ「！！！！（とるんじゃねー、飛び出すぞ！中身が）」



そして逃げ出したウサビと中の人代理。

この人にとっても大分きつかったらしく、ウサビから馬にチェンジ。

代理の中の人「...もうだめ……。」



今回の教訓

「ハロウィン、おかしをあげてもあげなくても、イタズラされる。」

ハロウィンは「お菓子をくれなきゃイタズラするぞー！」っといって仮装した子どもたちが各家々をまわる風習がある。

その後偉い人の指示もあり、頑張って復活したウサヒと代理。

ウサヒ「逃げ出した代理を捕まえるのに苦労したぜ。」

代理「す、すみません。(…自分だって逃げ出したくせに)」

最後は記念撮影



なんか違和感がある・・・

ウサヒと代理の人の仲がどうなったかはともかく、最後はみんなで仲良く写真撮影。

今後も代理の人が出るかもしれませんので、どうぞよろしくお願いします。